

活動名称 (40字以内)	東大こだま分教室の学習支援		
団体名等	東京都立北特別支援学校・東大こだま分教室		
活動区分	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアなどの社会貢献活動	選考方法	<input type="checkbox"/> 先着順
	<input type="checkbox"/> 国際交流体験活動		<input checked="" type="checkbox"/> 書類審査
	<input type="checkbox"/> 就労体験活動	募集人数	<input checked="" type="checkbox"/> 面接
	<input type="checkbox"/> 農林水産業・地域体験活動		4 人
	<input type="checkbox"/> フィールドワーク体験活動		
<input type="checkbox"/> 研究室体験活動			
参加資格等	学部学生		
活動期間	2019年8月 ~ 翌年3月	主な活動場所	東京大学医学部附属病院 東大こだま分教室 (本郷キャンパス)
	8 ヶ月間		
目的	小、中、高等部の長期入院中の児童・生徒に対し、東京都立北特別支援学校の教員10名が「東大こだま分教室」で授業を行っている。本学の学生が、医療現場で障害がある児童・生徒と向き合いながら教員の補助などに関わる事により、命の大切さや社会を構成する一員としての様々な現状を体験しながら学んでほしい。また、活動を通して、入院中の子どもの成長を促す学校(教育)の役割についての視点を深めるとともに、教育観、人間観についての理解を深めてほしい。		
具体的な内容 (800字程度)	<p>重い病気や障害などで入院しなければならない児童・生徒にとって、病院内分教室で学習することは児童・生徒の入院生活を豊かにし、何よりも教育の保障という点で大きな意義がある。本プログラムでは医療現場内にある病院内分教室を活動場所として、病気治療中の障害のある児童・生徒と向き合いながら教員の補助業務などに関わる。また、児童・生徒達への学習支援に慣れてきたら、希望に応じて病棟内のベッドサイドでも学習サポートを経験する。</p> <p>【主な活動内容】</p> <p>①授業のサポート: 授業のアシスタントとして、ディスカッションや会話のパートナー、工作作業を一緒に行うなど、学習支援を行う。また、入試相談など、定期的に学生の相談にのる。サポートに慣れてきたら、学生主体の企画(例: 大学生活紹介、東大キャンパスツアー等)の実施も可能</p> <p>②イベントへの参加: 2019年8月以降開催予定のイベントは以下の通りである。</p> <p>8月中: 夏休み教室 9月13日(金) 中・高等部校外学習 9月20日(金) 小校外学習(サンシャイン水族館) 11月1日(金) こだま祭(学習発表会) 12月中 ゲストティーチャー 1月上旬 書初め会 3月6日(金) 卒業・進級を祝う会 3月19日(木) 卒業式 3月25日(水) 修了式</p>		
備考	<p>・募集締切後に面接を行う為、メールや電話の着信をこまめに確認すること。</p> <p>・はしか・風疹・水ぼうそう・流行性耳下腺炎(おたふく風邪)についての抗体検査、抗体価がない場合はワクチン接種が必要となる為、参加決定通知書内の連絡事項「予防接種について」を確認の上、東大保健センターを受診すること(費用は大学負担)。感染症の流行する時期にはインフルエンザワクチンを接種すること。</p> <p>・参加学生は活動開始前に配布する「Pocket 医療安全マニュアル」にて、医療安全対策の基本を学ぶこと。</p>		
参加するための費用*	内 訳(1名当たり)	その他*特記事項は以下に記載	
	交通費 実費 円 宿泊費 円 イベント参加費実費 円 ( ) 円 計 円	奨励金額	なし 円
ウェブサイト等	東京都立北特別支援学校 東大こだま分教室: http://www.h.u-tokyo.ac.jp/kodama/top/top.htm		